



紫雲児の心

地域で学び、地域で育つ子ども

校長 五十嵐 めぐみ

新発田市が小中学校で進める「しばたの心継承プロジェクト」では、総合的な学習の時間を中心に、地域学習を行っています。今年度の地域学習のスタートに当たり、5月21日（水）に全校生徒を対象に「紫雲寺講演会」を行いました。

初めに、FMしばたの有本らな様から、紫雲寺の歴史についてご講話いただきました。有本様は大学在学中に紫雲寺の干拓史について調査研究をされていたそうで、紫雲寺潟の干拓のお話を通じて、「何事にも挑戦すること」や「思いやりをもって協力すること」の大切さを伝えてくださいました。紫雲寺生まれではない有本様から見ても、紫雲寺がこんなにも魅力あふれる地域だということは、紫雲寺で生まれ育った生徒にとっても、地域の魅力を再発見する良いきっかけになったはずです。

その後、2年生の代表生徒が「加治川桜・越後の姫まつり」の実践発表を行いました。かつて毎年実施されていた「加治川桜まつり」がコロナ禍で途絶え、昨年4月から新たに「加治川桜・越後の姫まつり」として再開するに当たり、昨年2月に実行委員会の方から「中学生にも是非参加してほしい」とお声がけいただきました。開催が迫っていたため、学校の教育活動に組み込むことはできませんでしたが、現3年生の有志がボランティアとして、昨年4月に実施された第1回の姫まつりの運営をお手伝いしました。

昨年度は、第2回目となる今年4月開催の姫まつりに向けて、実行委員会の方々と学校が連携しながら1年生の総合的な学習の時間に準備を進めてきました。4月の学校だよりもご紹介したように、4月13日（日）のまつり当日には、現2年生の生徒たちが考案して実際に調理したパンケーキといちご大福を販売し、大盛況でした。

生徒の発表後には、「加治川桜・越後の姫まつり」の実行委員長も務めておられる地域コーディネーターの新井田慎様から「みなさん一人一人が主体者です。大人も子どもも、みんなが主体的に活動して、みんなが楽しめるようにしましょう！」とお話いただき、これから地域学習に取り組む1年生も含め、全校の生徒たちは、主体的に地域学習に取り組もうとする意欲を高めることができたと思います。

会の中で地域コーディネーターの紹介も行いました。今年度は、次の3名の皆様に地域コーディネーターとしてお世話になりながら、地域と連携した教育活動を一層工夫して進めていく予定です。生徒たちが、学校の中だけでなく、地域で様々な学びを体験して人として成長し、将来の地域や国など、社会を担う人になってほしいと願います。学校と地域が協力しながら、社会に貢献できる人間を育てるために、引き続き、地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。